



1カラットから変える未来

ドキュメンタリー短編映画

「ダイヤモンドの来た道 ～シエラレオネ 採掘現場の声～」

映画感想文コンクール

募集期間

2019年6月1日(土)

9月5日(木)

対象

小学生

大人

映画制作: パース大学(英国) (原題: 「Voices from the Mine」)
日本語字幕制作: ダイヤモンド・フォー・ピース



主催	特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース
協力	特定非営利活動法人 Alazi Dream Project 大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI) 教授 伊藤武志 公益財団法人 五井平和財団 東京外国語大学教授 伊勢崎賢治 特定非営利活動法人 World Theater Project パース大学(英国) 他
協賛	一般財団法人 日本国際協力システム ザ・ボディショップ
後援	JICA横浜

本コンクールについて

ドキュメンタリー映画「ダイヤモンドの来た道～シエラレオネ 採掘現場の声～」(本編約35分)は、西アフリカ・シエラレオネ共和国のダイヤモンド採掘の現状を関係者へのインタビューを通して描いています。この映画を鑑賞し、あなたの感じたことを伝えてみませんか？

本コンクールページ ▶ <http://diamondsforpeace.org/movie1/>

募 集 期 間 ▶ 2019年6月1日(土)～9月5日(木)



コンクール参加方法

1 映画を見る



①オンライン

本コンクールページ上で鑑賞します。

②上映会

当法人および協力団体が実施する上映会にご参加ください。

上映会のスケジュール、開催場所等は本コンクールページ上でご確認ください。

③DVD(学校・企業・団体向け)

学校、企業、団体等で鑑賞する場合は、無料でDVDおよび副教材をお送りします。

本コンクールページよりお申込みください。

2 感想文を書く



応募する部門に合わせて感想文を書きます。

小学生 中学生	手書きのみ
高校生 大学生 大人	手書き、PC入力可

※英語部門も他部門と同様に中学生は手書きのみ
高校生以上は手書き、PC入力可となっています。

部 門	字 数
小 学 生	1200字以内(原稿用紙3枚以内)
中 学 生	1200字以内(原稿用紙3枚以内)
高 校 生	2000字以内(原稿用紙5枚以内)
大学生(専門学校、短大、高専、大学)	2000字以内(原稿用紙5枚以内)
大人(上記以外の方)	2000字以内(原稿用紙5枚以内)
英語(日本在住の中学生～大人)	1000語以内(A4 5枚以内)

3 応募する



①郵送による応募(個人、学校・企業・団体)

コンクールページより応募フォームをダウンロードし、記入します。

印刷した応募フォーム及び感想文を以下の宛先に郵送します。＜9月5日(木)消印有効＞

郵送先

〒247-0007神奈川横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 地球市民かながわプラザ NPOなどのための事務室内
特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース 「映画感想文コンクール」係

②オンラインによる応募(個人のみ)

コンクールページより応募フォームをダウンロードし、記入します。

入力した応募フォームと感想文をそれぞれPDF化し、コンクールページからアップロードします。

＜9月5日(木) 23:59締切＞

※切直前にコンクールページへのアクセスが集中することが予想されます。オンラインによる応募の場合、お早めにご応募ください。

表彰



応募作品を審査の上、最優秀賞、優秀賞、TICAD7賞、学校賞等を決定します。

審査結果は2019年11月に本コンクールページで発表し、入賞者へは個別に連絡します。

表彰式は2019年12月頃、開催予定です。

●著作権について

応募作品の著作権は主催団体であるダイヤモンド・フォー・ピースに帰属するものとし、応募作品は返却いたしません。入賞者の氏名、作品、学校名等はインターネット上に掲載することがあります。

●個人情報の取り扱いについて

応募いただいた個人情報は、ダイヤモンド・フォー・ピースの個人情報保護方針に則り、厳重に管理し、資料送付、連絡、個人識別の目的に限り利用いたします。

問い合わせ先



Diamonds for Peace

特定非営利活動法人ダイヤモンド・フォー・ピース 映画感想文コンクール事務局
横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 地球市民かながわプラザ NPOなどのための事務室内

URL

<http://diamondsforpeace.org>

E-mail

movie@diamondsforpeace.org

私たちは、ダイヤモンド採掘労働者の労働環境改善・社会的地位の向上、国内外におけるダイヤモンドを取り巻く課題の啓発等を通して「ダイヤモンドが人道・環境配慮の上、採掘・カット・製造されることが当たり前の社会」の実現を目指して活動しています。